

コード (分野)	24301 (4.キャリア教育)
メニュー名	看護の魅力発信
校名(学年)	東近江市立玉緒小学校 6年 25名
講師・支援者等	滋賀県看護協会看護師 神山様、栃尾様 敬愛病院看護師 井堀様 山崎病院看護師 手嶋様 近江温泉病院看護師 久田様
学習名	「看護の魅力を届けにきました」
教科等	総合的な学習の時間
実施日	令和8年1月16日(金) 10:45~12:20

《授業の流れ》

テーマ「看護の魅力を届けにきました。」

1 看護って何？

看護師：24時間命を守るプロ…看護国家試験（資格）
保健師：地域を支える健康づくりのエキスパート
助産師：妊娠・出産・子育てと女性の一生をサポート



▶ 心と体を支える仕事

2 看護の仕事について

・ <主な仕事>

医師のサポート、患者さんやその家族のケア

・ <適性>

世話好き、体力、観察力、コミュカ

→ 「**た**くましい体 **ま**なびもとめる力 **お**もいやりの力」…学校目標に合致

・ <きっかけ>

高校1年生の時に父が病気で入院した時、看護師さんに救われた経験
人の役にたつ仕事がしたい、バイトで男性看護師に出逢った

・ <活躍の場>

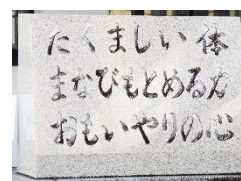
病院、テーマパーク、老人ホーム、保育園等

・ <仕事のスケジュール>

(午前)7, 8名の患者さん対応(午後)記録、会議、ケア、部屋回り、レク、引継

・ <この仕事を選んで良かったこと>

国家試験資格(安定と保障)、多様な働き方が可能、
キャリアアップできる、私生活でも役立つ



・ <大変なこと>

「命」を預かる責任の重さ

夜勤、1日中立ち仕事、体力負担、患者さんや医師などの人間関係

患者さんの「死」や「痛み」との遭遇

・ <やりがいや嬉しいこと>

患者さんが元気に退院していく時、家族や患者さんからの感謝の言葉と笑顔、

患者さんの小さな変化に気づくことができ適切な対処や対応ができた時、

自分の存在価値やリーダー的存在価値が感じられる、一人ではできないことがチーム対応で可能になり成果として現れること

・ <質疑応答>

勉強で大変だったこと…実習

大切にしていること…患者さんの立場に立ち考え、想像すること

医者と看護師の違い…医師は直接診断と治療を行うが看護師はサポートする

3 「かんごちゃん」キャラクター着ぐるみ登場

ふれあいタイム、記念写真タイム



4 バイタルサイン測定体験と使用器具

① 聴診器 ② 血圧計 ③ パルスオキシメーター

④ 注射器の実際(様々な針の種類と用途) ⑤ 駆血帯(くけつたい)

⑥ 三角巾の幅広い応用術

5 「楽しかった!!」感想とお礼

・ 安心、自信、自由の環境を整えることの大切さ

・ 脳みそは28歳でやっと完成すると言われる。→未熟だからわからないことがあるのは当たり前、だから信頼できる大人に相談することは大切。自ら経験することも大切。

<感想等>

児童

<児童>

- ・ 看護師さんが、資格を取った後も勉強を続けているなんて知らなくてすごいなと思った。
- ・ 頑張っているということを知ったから、次に病院に行った時は、尊敬の気持ちを込めてお礼を言いたい。
- ・ 血圧を測ったり聴診器で心臓の音をきいたりする体験が楽しかった。
- ・ 玉緒出身の看護師さんが、自分の経験から将来の夢を決めたという話があった。人を助けたいと思う気持ちがいいなと思った。
- ・ 看護師は、医者の手伝いではなく、人と人をつなぐ仕事という話に感動した。

学校

・実際に看護師として日々患者さんのサポートをされている方から直接お話をうかがうことができる機会はなかなかないため、非常に有意義な時間となった。もちろん、聴診器や注射器に触れたり、血圧を測ったりする体験も貴重だったが、それ以上に、「大変だけどやり甲斐のある仕事」「患者さんやご家族から感謝の言葉をもらって自分の存在価値を感じられる」といったお話を直接うかがえたことは、児童のこれからの生き方におおいに参考になると考える。

一方、どの地域でも看護師不足が課題となっている。特に6年生は外国にルーツをもつ児童が多いため、国家資格を得て、日本で安定した生活の中でやり甲斐を感じながら仕事をするためにも、将来の選択肢の1つとして看護師を目指す児童が出てきたらうれしいなと思った。

支援者・講師

・いつも子供たちがキラキラした瞳で話を聞いてくれる姿に喜びを感じ、私の方がパワーをいただいています。もちろん、将来看護師を目指していただけるならこれほど嬉しいことはありません。しかし、こうした交流を通して何より大切だと感じるのは、『大人が心から仕事を楽しみ、喜びを感じている姿を見てもらうこと』だと思います。

みんな金の卵です。次代を担う重要な人材である子どもたちが、いつか誰かを支える喜びを知り、滋賀の未来を明るく照らす存在へと育っていくことを心から願っています。

取材者

- ・1コマ目に看護師の魅力を伝え、2 コマ目に体験ができる内容の濃いメニューで、子どもたちが時間の経過に伴いどんどん引き込まれていく様子が見えた。
- ・最初に看護師になりたいと思っている児童が0人だったが、玉緒小学校出身の男性看護師が看護師の魅力について語った後は、関心を抱いた児童が増えた。
- ・看護師の適性能力が学校目標と合致したのを見て、児童の瞳が一斉に輝いた。
- ・子どもたちの社会の扉を開いて、多様な選択の引き出しを提供することの大切さを改めて感じた。

